



かめっ子

学校だより 6月号
令和7年 6月 2日
足立区立亀田小学校
校長 井上 龍夫

「那須甲子自然教室に寄せて」

校長 井上 龍夫

「梅雨のはしり」を思わせる天気が見られるようになり、校庭の隅にほんの少しある紫陽花も、一雨ごとに鮮やかさを増しています。季節は梅雨、そして夏へと駆け足で進んでいるようです。かめっ子たちも、新しい学級や学年にすっかり慣れ、学習に生活に伸び伸びと力を発揮している姿をたくさん見かけるようになりました。

そのような中、5年生は2泊3日の「那須甲子自然教室」に赴きました。ご存じのように、5年生は今まで、区の施設がある内房の「鋸南」が自然教室の舞台でした。しかし今年から施設の改修工事が始まり、舞台はのどかな海辺の「鋸南」から、火山と高原の「那須甲子」へと変わりました。

初めての活動、初めての宿舎……。初めて尽くしの2泊3日は、かめっ子たちの蓄えてきた力が問われるものでした。

今回の「那須甲子自然教室」には、以下の3つの目標がありました。

- 1 友だちと協力し合い、団結力を深めよう。
- 2 集団生活のきまりを守って、安全で楽しい生活を送ろう。
- 3 那須甲子の豊かな自然に親しみ、学習を深めよう！

この3つの目標が最も試されたのは、2日目の「茶臼岳登山」でした。例年より雪が多く残り、安全第一を期して往路もロープウェーを使うことにしました。山頂駅から頂上までの高低差は250m足らずですが、火山なので風を防ぐ樹木はなく、強風や寒さが襲います。足場もがれ場が続き、頂上が近づくにつれ斜度は増し、手を使わないと登れない難所が続きます。途中には登頂をあきらめ引き返したり、その場にとどまって登頂者を待ったりする人々がたくさんいました。

かめっ子の中にも、初めての「登山」に戸惑い、気持ちも身体も動かなくなる友達がありました。でも、そんな場面では、「がんばれ！」「足をそこにかけるといいよ！」「一緒に行こう。ついていよ。」という声がどこからともなく必ず聞こえて来ます。そうです。かめっ子たちの仲間の声です。

自分が大変な状況にあっても、仲間を気遣う行動や声掛けは、那須の山々の凜とした峰々を背に絶えることなく続けました。そして、亀田小学校の児童、引率教職員も含めた全員が1915mの頂に立つことができたのです。

前述した3つの目標を見事に成し遂げた96人の笑顔には、達成感とともに、本校に対する帰属意識が溢れていました。膝の調子が悪い私も、かめっ子の力を借りて登頂に成功した一人です。きっと一人だったらあきらめて、あの素晴らしい景色や心地よい風、そしてやり遂げた達成感を得ることはできなかったでしょう。みんながいたから頑張れた、みんなと一緒に登れたからうれしさも大きかった。そのことを肌で感じ、「もう一度登山をしてみたい」と答える児童も多かった今回の山行。素晴らしい宝を手に入れて帰京した5年生の今後の活躍が楽しみです。

私が考える「夢を育む学校」も同じ気がします。学校だからこそ学べること、学校だからこそ学べるべきことを教えてくれた5年生。そして、それを支えた教職員、保護者の皆様への感謝を胸に、今後の教育活動も進めていきたいと思います。

